

読売新聞平成24年10月12日朝刊 「解」

子どもの頃、自宅のトイレは和式だった。水洗型だったが、床は冷たいタイル張りで、居心地のいい場所ではなかった。それが、親類宅で初めて洋式トイレに腰掛けたとき、和式に比べて清潔で、無理に力む必要もなく、実際に爽快な気分で用を足せた記憶がある。

これが逆だったらどうか。すなわち、洋式に慣れた子どもが、和式を使う場合である。「勝手がわからず、まごつくのはなぜいか」と思っていたところ、頷けるデータを目にした。小林製薬が今年6月、全国の小学生を対象に調査したところ、約3割の児童が「学校でうんちをしない」と答え、46・1%が「うんちを我慢したことがある」と回答したという。我慢する理由のトップは「恥ずかしい」(53・7%)だが、

レは和式だった。水洗型だったが、床は冷たいタイル張りで、居心地のいい場所ではなかった。それが、親類宅で初めて洋式トイレに腰掛けたとき、和式に比べて清潔で、無理に力む必要もなく、実際に爽快な気分で用を足せた記憶がある。

これが逆だったらどうか。すなわち、洋式に慣れた子どもが、和式を使う場合である。「勝手がわからず、まごつくのはなぜいか」と思っていたところ、頷けるデータを目にした。小林製薬が今年6月、全



医療情報部次長
吉田 清久

真紀子さん、トイレへ

2番目に「和式が苦手」(35・3%)が並んだ。

うんちを我慢することは看過ならない話だ。便秘の原因になるし、悪化すると腸が炎症を起こして下痢や便漏れに悩まされるからだ。いまや家庭のトイレはほとんどが洋式のご時世だが学校現場はそうではないらしい。知り合いの教師に聞くと、「うちの小学校では、トイレに便器が四つあれば、洋式はそのうち一つだけ。洋式を増やそうといふ声はありますが、予算不足で後回しにされています」。トイレと言えば、文部科学相の田中真紀子さんが就任あいさつに訪ねてきた文科次官を議員会館の女子トイレに呼び入れ、打ち合わせをしたとワيدショーで話題になつた。

真紀子さん、今度は次官と一緒に学校のトイレを見に行つたらどうだろうか。